

探究入門 特別講義①

平成28年4月25日実施

テーマ「探究」の学び ~なぜ探究することが重要なのか？~

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

講義内容

- ①なぜ、「探究」という取り組みをするの？
- ②「探究」の授業では、何を考えて、どう進めればいいのか？

実習内容

- ①身の回りを観察し、気になったこと、疑問に思ったことを書きだそう
- ②関連図書を探そう

生徒の感想

- ・探究について学び、これから探究をしていくのが楽しみになった
- ・視野を広げ、これから変化していく社会で生きていくために必要なものだと分かりました
- ・自分の考え次第で何でもできるんだということが強く心に響きました



テーマ「クロマグロ稚魚の生産技術開発」

講師: 近畿大学農学部教授 石橋 泰典先生

講義内容

- ① マグロ類の資源の問題、完全養殖
- ② クロマグロ人工種苗の大量生産
- ③ 水産研究所、水産学科の教育カリキュラムなど

生徒の感想

・「地上の生物は飼育して食べているけど海の生物は天然のものを食べまくっているよね。」という言葉に、今まで当たり前だと思っていたことがそうではないんだと少し驚いた。

・意外と単純なことで様々な問題を解決できているんだということに驚きました。自分たちでいっぱい考えて試して、成功につなげていくというのは本当におもしろそうだと思います。

・マグロの話からたくさん学ぶことがあった。諦めないことや失敗があってもこそ成功があるんだと思った。



テーマ「チベットからみたシルクロード～古文書との出会い～」

講師：神戸市外国語大学 客員研究員 西田 愛先生

講義内容

- ①チベットとは？
- ②チベットとシルクロード
- ③古代研究へのアプローチ

生徒の感想

・フィールド調査がとても楽しそうでした。
チベットの歴史はもちろん、特に占いについてはとても興味を持ちました。さいころ占いで何もかも決まるなんて…。それは嫌です。

・古文書を研究するには、1つの単語を調べるためにもものすごく手間と時間をかけていることがわかった。

・研究の話をしているときの先生は、とても楽しそうで、自分が一番やりたいことができるって良いことだなと思いました。



テーマ「チベットからみたシルクロード～古文書との出会い～」

講師：神戸市外国語大学 客員研究員 西田 愛先生



シルクロード

草原の道 / オアシスの道 / 海の道

西から

- ガラスの道
- キリスト教
- ゾロアスター教
- マニ教
- 仏教

東から

- 絹の道
- 道教
- 法僧

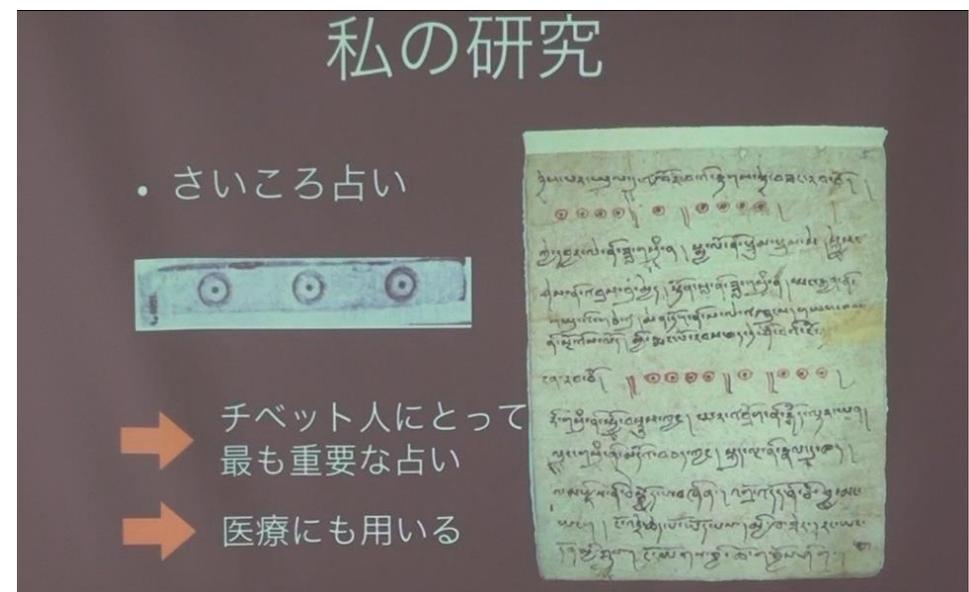
胡瓜、胡麻、胡桃、胡椒

西田 愛先生



敦煌莫高窟 藏経洞

16窟の窟堂北壁に作られた17窟



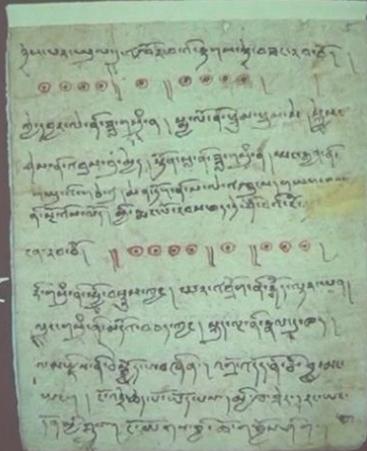
私の研究

- さいころ占い



チベット人にとって最も重要な占い

医療にも用いる



探究入門 特別講義④

平成28年6月20日実施

テーマ「和歌の家・冷泉家800年」

講師：冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉為人先生

講義内容

- ・冷泉家の歴史と文化について
- ・日本人として生きるとは

生徒の感想

- ・冷泉家は、平安時代から代々「和歌の家」として続いてきて、重要文化財や国宝など千点以上の典籍類を代々受け継いできたと聞いて驚きました。
- ・歴史には意味があり、行事でも本当の意味を理解しているとまた違ったものが感じられると思った。
- ・「無知の知」の言葉はとても納得できるものでした。知らないからこの世界はおもしろいけど、知ったときが一番おもしろいと思った。
- ・「人間とは何なのか」ということを考え直すことができました。
- ・「考える力」をつけていきたいと思いました。



リーダー研修

平成28年7月8日実施

テーマ「リーダー、リーダーシップって何？」

講師：野外活動協会(OAA) 専務理事
生涯学習コーディネーター 清水 勲夫先生

講義内容

- ①リーダーシップとは
- ②人に好かれるために
- ③チームワークとは
- ④「生きていく力」とは

生徒の感想

・講義内容が大変面白く、役立つものばかりでした。リーダーシップが大切なのは分かっていましたが、それが何なのかを知ることができました。また、人に好かれるための行動というのが常識的なことや意外なこと(好奇心など)がありました。とてもありがたかったです。

・1人1人に特徴があって、1人1人ができないことや違ったところをカバーしていくのがチームを作るのに一番大切だと教わりました。そして、1人1人の能力をしっかりと見つめることがリーダーになるには必要だと学びました。とても良い時間になりました。



リーダー研修

平成28年7月8日実施

テーマ「リーダー、リーダーシップって何？」

講師：野外活動協会(OAA) 専務理事
生涯学習コーディネーター 清水 勲夫先生

生徒の感想

・リーダーについて大きな勘違いをしていたことが分かった。1人で背負い込んでしまうことが多かったが、仕事を分散して、みんなで成長できるような経験がしたい。好かれるということは難しいことだけど、笑顔を絶やさない聞き上手な人になりたいと思った。今日は本当に楽しかった。ありがとうございました。

・とても楽しかったです。私は人前に出るのが苦手で、少しでも自分の意見が言えるようになりたいと思って、この類型を受験しました。今日、私は人を見守って問題を見つけ解決するというリーダーがいることを初めて知りました。人前が苦手な私でも、集団が成長するためにリーダーになれるんだと思いました。生きていく力を養うために、困難と思うことも一生懸命していきたいです。

・とても楽しかった。初めてしゃべることができたクラスメートもいたので、良い機会だった。ゲームを通して新しい自分を発見することができ、クラスメートの大切さも改めて知ることができた。



探究入門 特別講義⑤

平成28年7月13日実施

テーマ「プレゼンテーション I」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

講義内容

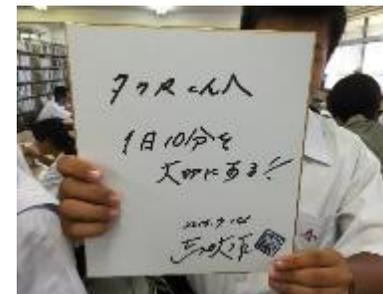
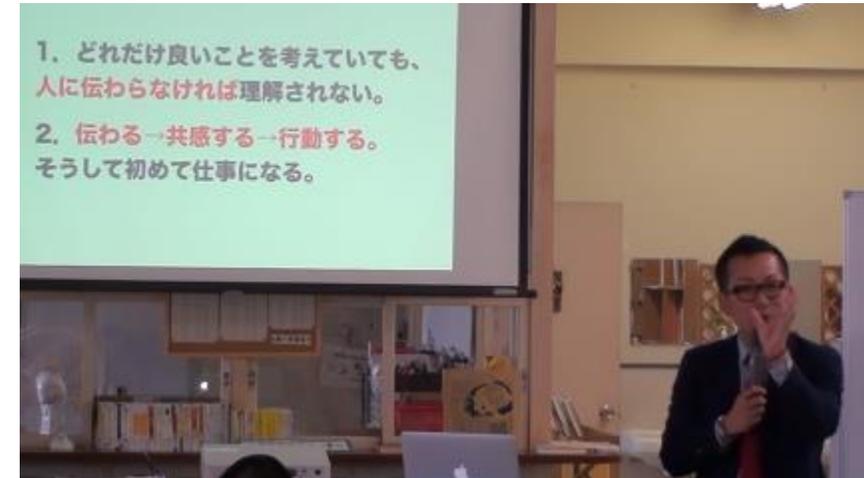
- ・プレゼンテーションとは何か？
- ・プレゼンテーションの「準備用」ワークシート作成

生徒の感想

・プレゼンテーションは上手に発表することだと思っていた。今日の講義はとても分かりやすく、頭にスッと入ってきた。これもプレゼン力ということなんだろうと思った。相手にとってどういうふうに捉えられるかを考え、また、相手にどう伝えたいかが一番大切なんだと知った。私も常に相手にどう伝わるか、伝わってほしいかを考えて過ごすべきだと感じた。「自己満足」にならないように“プレゼント”を意識していきたい。

・プレゼンテーションに対して考えている概念がかわった。「探究」に向けてしっかり頑張れるように思えた。詳しいプレゼンテーションの話が聞けたのでプレゼンテーションすることに少し自信が持てました。

・とても面白かった。アンケートのとり方など吉田先生に質問できて良かった。



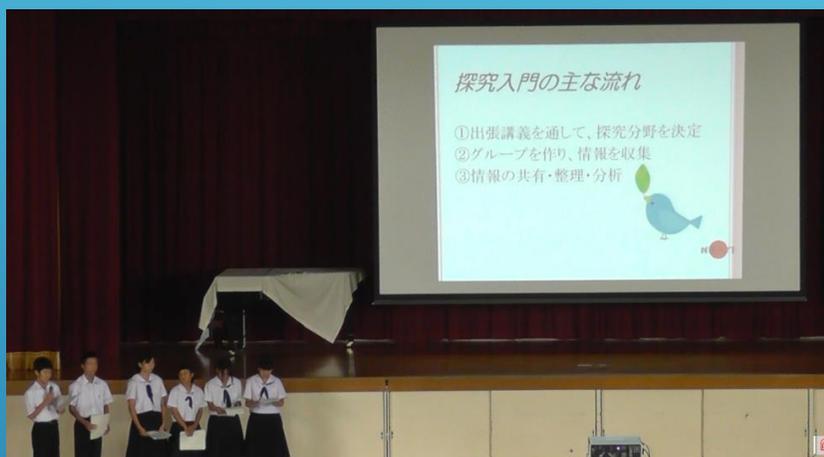
兵庫県立東播磨高等学校

2016 学校説明会



「自然と人間探究類型」について

①「探究入門」の説明



②「リーダー研修」の説明



11月8・9日のオープン・ハイスクールでは「探究入門」の中間発表を予定しています。

在校生(生徒会代表)からのメッセージ



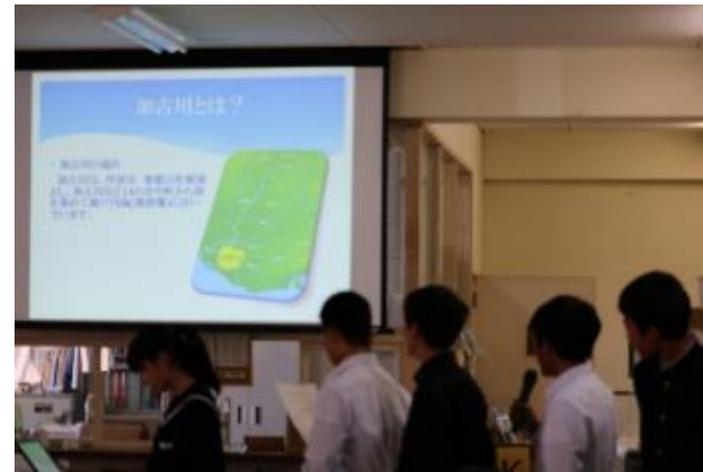
クラス中間発表①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

7班 色彩と記憶に関する一考察
～身近な色と心の関係～



6班 加古川水棲生物について昔と今とで
何が変わったか(環境問題)



1班 集中力の高め方



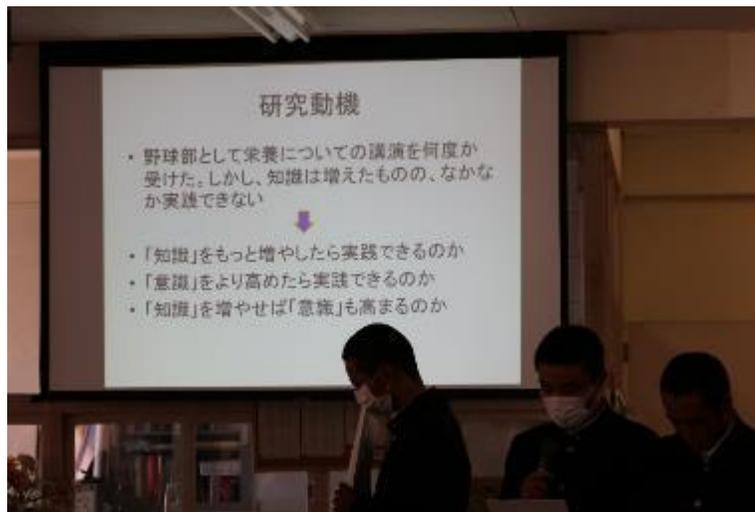
2班 なぜペンギンは空を飛べないのか



クラス中間発表②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

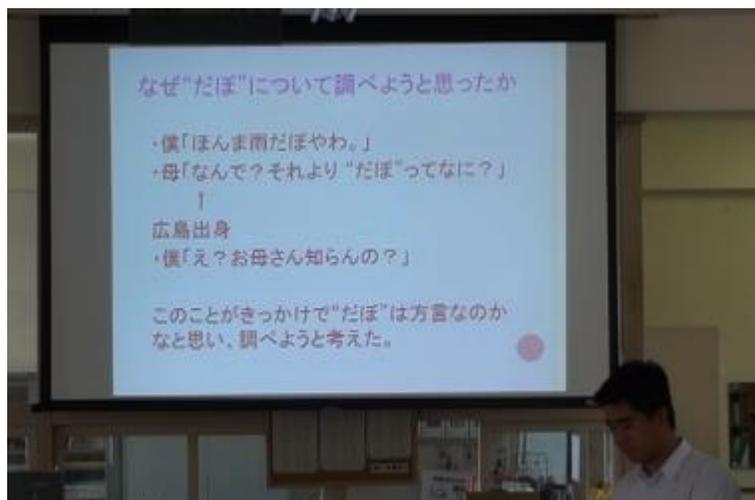
3班 心と体 ～野球にコミット～



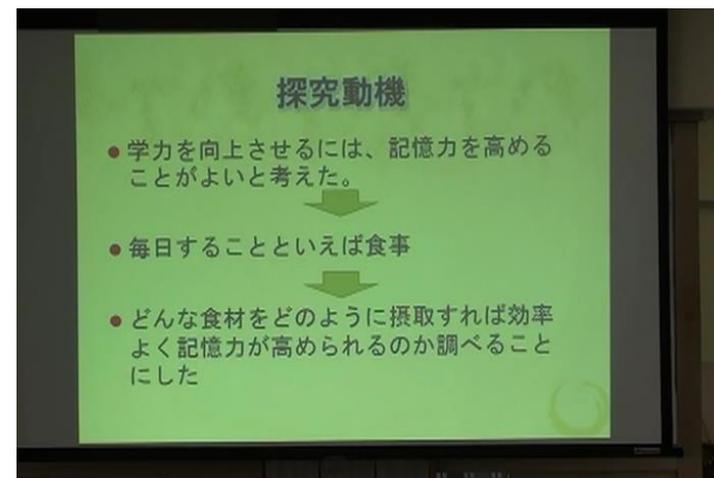
8班 緊急地震速報が人を不安にさせる理由と脳との関係



4班 「だぼ」って何ですか？



5班 学力向上につながる食材、それを使った料理



クラス中間発表③

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

各班に吉田先生から丁寧なアドバイス



発表時間 各班5分，助言 3分
評価シートを用いて、相互評価を実施
(感想)

・自分たちの班もしっかりとできたと思っていたけど他の班もすごく上手でびっくりした。テーマもおもしろくて、興味もてる内容だったから完成が楽しみになった。自分たちも今からアンケートなどで内容を深めていきたい。

・それぞれの班に良いところがあって、個性があふれているように感じた。吉田先生の1つ1つの班に対するアドバイスがとても心に残った。

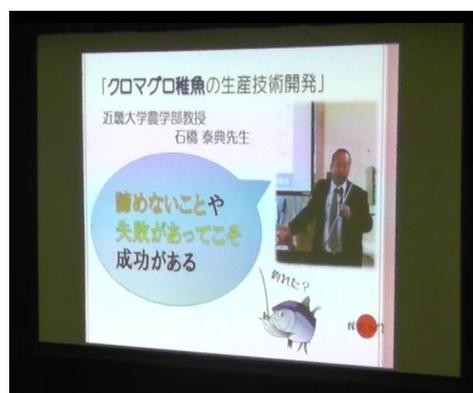
- ・聞いている人に問いかけたり、実際に行った映像や参加型だと一層興味を持ってもらえるプレゼンテーションになることが分かった。
- ・みんな上手で次回が気になるような終わらせ方だった。



兵庫県立東播磨高等学校 オープン・ハイスクール



「自然と人間探究類型」の取り組みについて

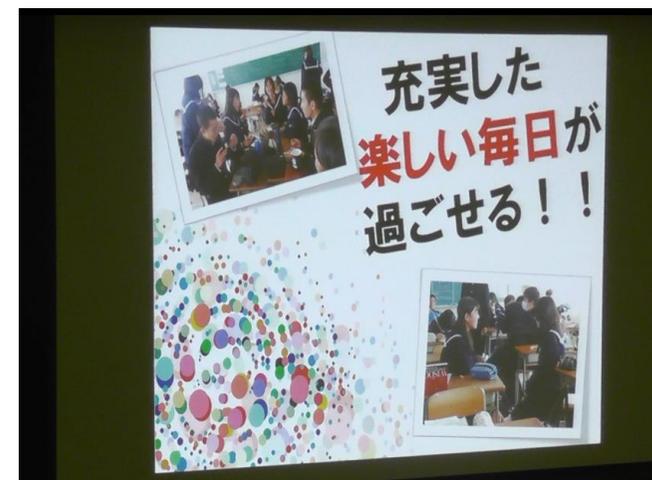
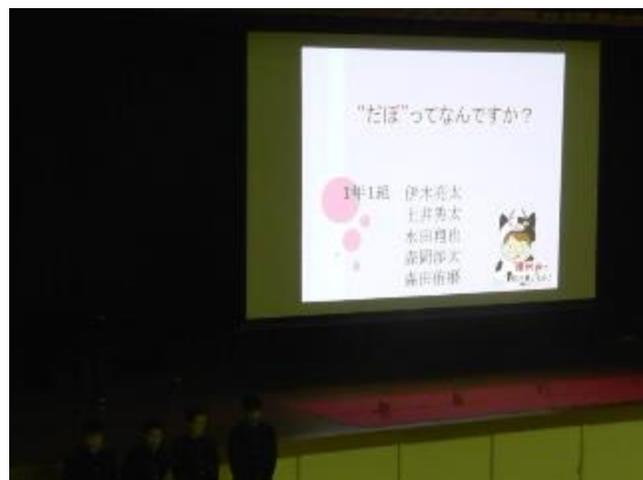
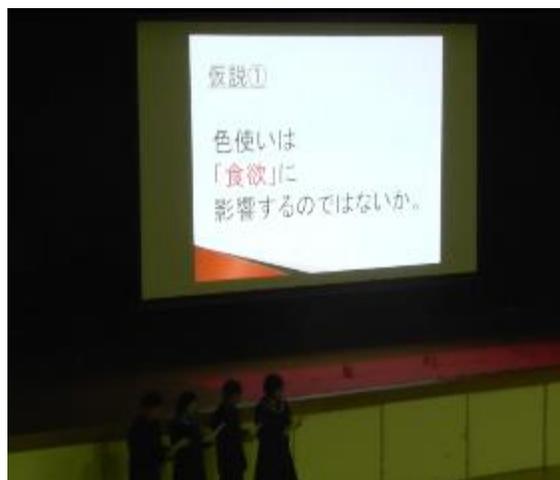


「リーダー研修」を紹介



「探究入門」 クラス代表2班による発表

クラス紹介ビデオ



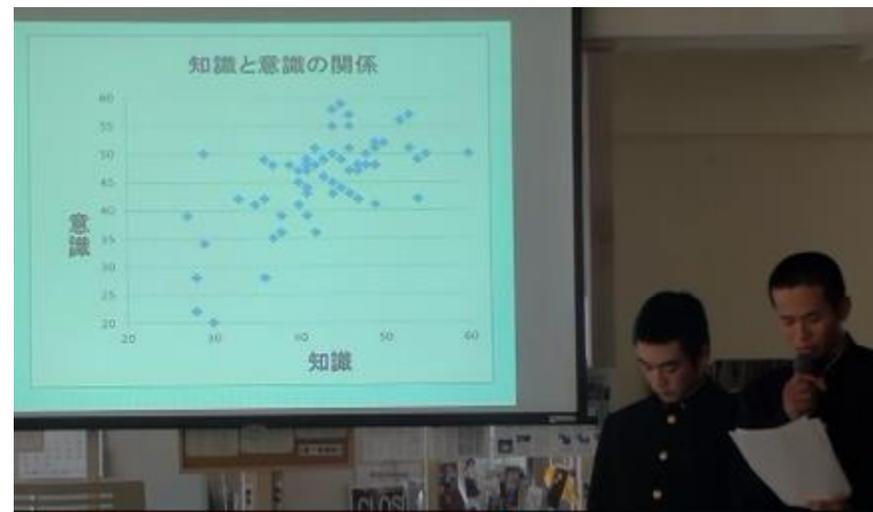
クラス発表会①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

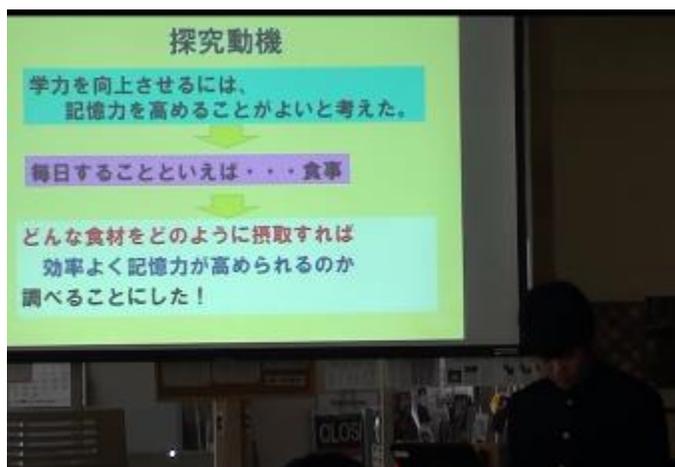
4班 「だぼ」って何ですか？



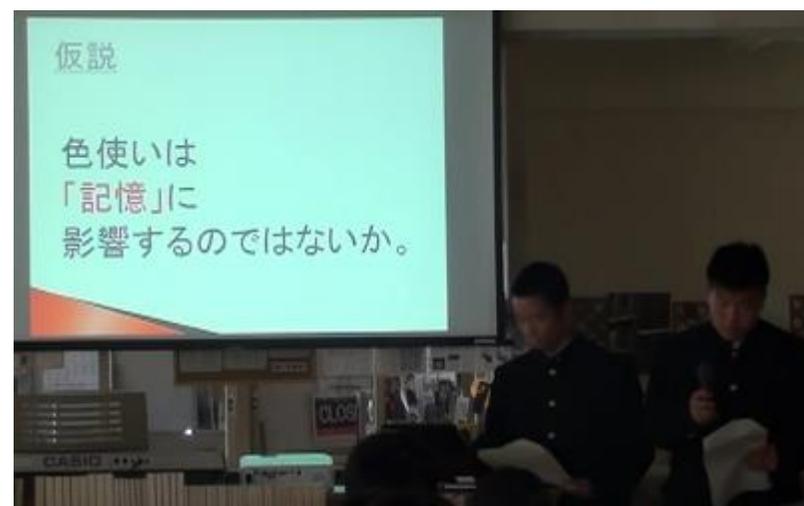
3班 心と体 ～野球にコミット～



5班 学力向上につながる食材、それを使った料理



7班 色彩と記憶に関する一考察
～身近な色と心の関係～



クラス発表会②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

6班 加古川水棲生物について昔と今とで
何が変わったか(環境問題)



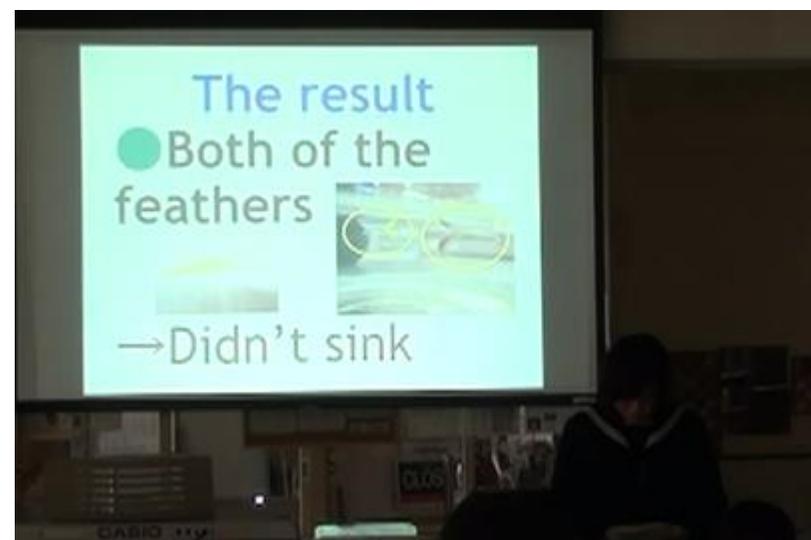
8班 緊急地震速報が人を不安にさせる
理由と脳との関係



1班 集中力の高め方



2班 なぜペンギンは空を飛べないのか



クラス発表会③

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

発表時間 各班 約7分 , 助言 約3分
評価シートを用いて、相互評価を実施
(生徒の感想)

各班への適切なアドバイスと「探究」の可能性
を話していただきました。

・探究は終わりがなく常に深く新たな切口を見つけるのがおもしろい所だなと思いました。これからも疑問を持って生活したいです。探究の授業ができて本当によかったです。

・初めはテーマを考える事から始まって、本当に発表までいくのかととても不安な状態だったけど、今こうして発表を終えることができ本当に良かったなと感じています。この発表するにあたっていろいろな方のお話を聞く機会があってとてもいい経験になったと思います。特に、吉田先生のお話は直接プレゼンテーションに役立てることができるお話でとても勉強になりました。1つのテーマをここまで詳しく調べたのは初めてだったので、大変でしたが最後にはいい形になって終わることができて本当に楽しかったです。

・どの班も中間発表の時より深いところまで調べることができていて、発表につなげることができていたのが本当に良かったと思います。自分たちの発表もなかなかうまくできたと思います。でも、まだ、課題はたくさん残っているし、さらに深めることができそうなので、これからも調べていくことができればいいなと思いました。できたらもう一度発表がしたいです。

・すごくためになる情報がたくさんあった。興味のあるものを1つみつけたら、知らないことはまだまだたくさんあるのだと感じた。世の中のは調べるとおもしろいものがあるのだなと思った。これをきっかけに、周りをよく観察するようになるかもしれない。何よりも吉田先生やスマスイの杉村さんという素晴らしい方に出会えたことに感謝したい。

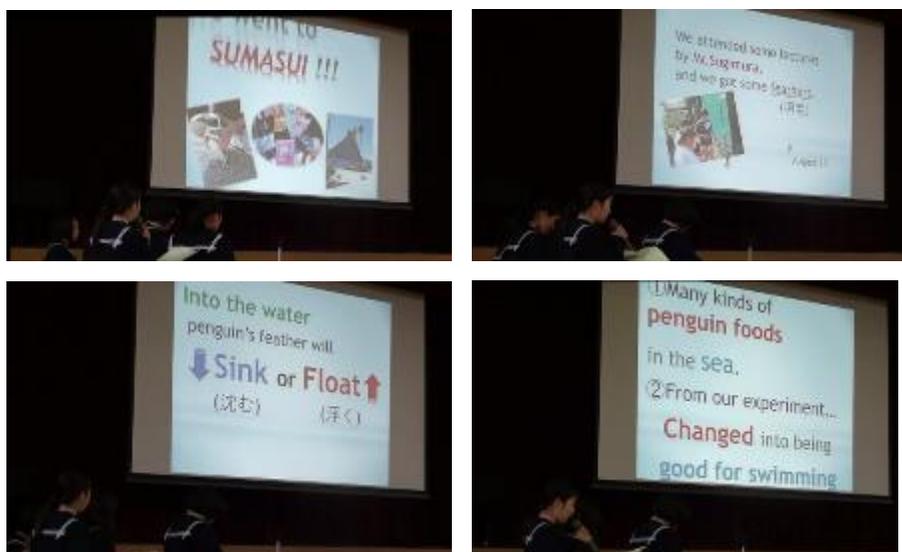
・終わってみればあっという間の発表まできたなという感じがしました。英語での発表だったので、みんなに理解してもらえるか不安でしたが、無事に終わることができて良かったです。



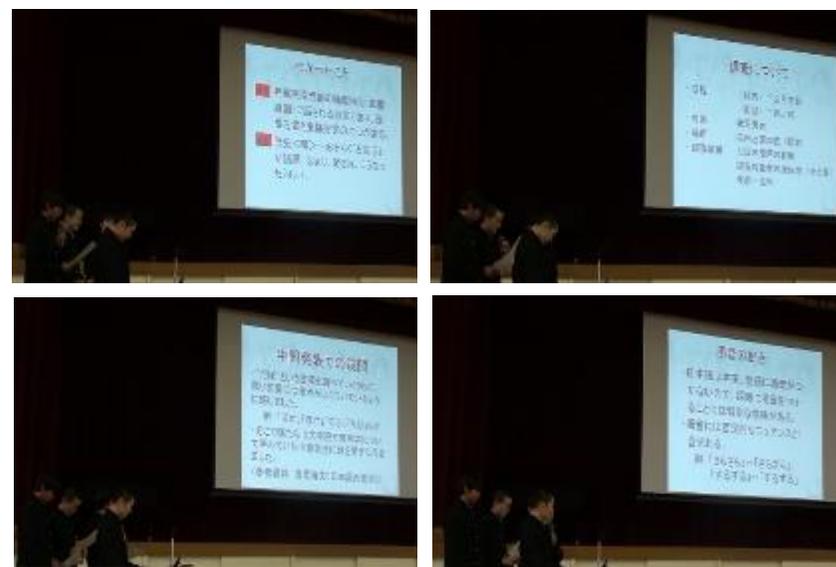
学年発表会

「自然と人間探究類型」の3つの代表班が発表しました

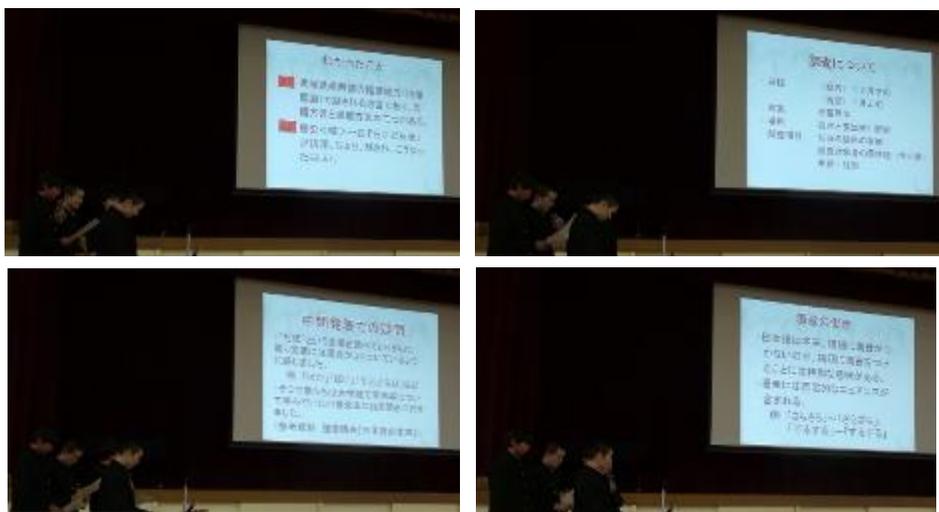
2班 なぜペンギンは空を飛べないのか



4班 「だぼ」って何ですか？



7班 色彩と記憶に関する一考察
～身近な色と心の関係～



「探究入門」「リーダー研修」を終えて(生徒の感想)

- ・興味をもっているものが似ている人たちで、同じ疑問について調べ、お互いが意見を出し合い、1つのものを完成させるのがすごく達成感がありました。クラスにはリーダー的存在の人が多く、それぞれの色を出しながら生活していて毎日がすごく楽しかった。
- ・須磨水族園へ訪問したり、プレゼンを作成することにより、責任をもって行動することが学べた。たくさんの方々をつながりをもて、とてもうれしく達成感があった。ありがとうございました。
- ・自分の考え方や積極的さが変わったように思いました。特に、班での討論や情報収集、プレゼン作成などが楽しくて楽しくて仕方なかったです。終わるのはさびしいなあ・・・。